

図書だより

図遊学館「よも〜よ」 ☎582-5388

今月のおすすめ

暖かい部屋でゆっくり読書を



一般書

7.5グラムの奇跡 砥上裕将：著（講談社）

国家試験に合格し、視能訓練士の資格を手にしたにもかかわらず、野宮恭一の就職先は決まらなかった。後がない状態で面接を受けたのは、街の小さな眼科医院。人の良い院長に拾われた恭一は、個性的なメンバーと一緒に、視機能を守るために働きはじめる。精緻な機能を持つ「目」を巡る、心温まる連作短編集。



児童書

王さまのお菓子 くらはしれい：絵 石井睦美：文（世界文化ブックス）

ミリーは、陶器でできたお人形です。豆つぶほどの大きさで、フェーブと呼ばれています。「さあ、いっておいで。きみは だれをしあわせにするんだらうねえ」パティシエのブランさんにそう言われたミリーは、アーモンドクリームがたっぷりつままったパイの中へ…。フランスの伝統菓子「ガレット・デ・ロワ」を題材にした作品です。

掲示板

図生涯学習課 ☎582-2408

「桑折町人材協力支援バンク」 登録募集について

町では、学校・地域・家庭の連携をもとに、子どもたちの学びや成長を支えるため、地域と学校が連携・協働してさまざまな活動を行っています。活動を充実させるため、自分の持っている知識や技術を活かし、ボランティアとして学校や地域の学習活動などに協力していただける人を募集します。

■「人材協力支援バンク」とは

町内の学習活動やスポーツ活動、地域活動などに対して、指導・協力してくださる人を登録し、その情報を提供する仕組みです。

■登録のできる人

町内で活動している個人または団体。資格の有無は問いません。登録期間は2年です。

■申し込み

町中央公民館（☎582-3129）まで問い合わせください。

締め切りは、2月28日（月曜日）までとなります。

※政治や宗教、営利活動など、人材バンクの趣旨に反する目的での登録はできません。

マルベリーこおり

図マルベリーこおり事務局 ☎582-3129

スノートレッキング参加者募集

神秘の氷瀑イエローフォールへ

「幻の氷瀑（氷の柱）」とも言われる、厳寒期にしか現れない大きな氷の滝。しみ出す水滴が硫黄分を含んで、凍り付くと黄色く色づくことから、「イエローフォール」と呼ばれています。

スノーシューを履いて、幻想的で美しい冬だけの絶景を見に行きませんか。

■日時 2月20日（日曜日）

■場所 裏磐梯スキー場

■定員 10人

■行程 裏磐梯スキー場⇔イエローフォール周遊

※登りリフト利用

■参加料 会員 4,500円
未会員 5,500円

（交通費、リフト代、保険料込）

※スノーシューレンタル有

※定員になり次第申し込みを終了しますので、早めに申し込みください。

※参加者には、後日行程表を送ります。



▲冬しか見られない白銀の世界



1_参加者の皆さんで記念撮影 2_思い思いの絵を描いてオリジナルのたこを作製 3_たこ揚げを思い切り楽しみました

INVITING COMMUNITY
ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

たこ作り寺子屋交流会 キッズスクール

キッズスクール「たこ作り寺子屋交流会」が1月23日、イコーゼで行われ、会員14人と県と町の老人クラブ連合会員7人が参加しました。

今回作ったたこは、骨を2本平行に配してビニールを張り付けるタイプのもの。老人クラブの皆さんによるサポートのもと、参加者はビニール部分にそれぞれ好みのイラストなどをマジックで描いて、糸をしっかりと結び付け、自分だけのオリジナルのたこを作りました。

完成後、早速イコーゼ北側駐車場でたこ揚げに挑戦。初めは風がなく苦戦しましたが、少しずつ出てきた風をうまく捉えて高く上げることができました。参加者からは「自分で作ったたこが高く上がって気持ち良かった」などの感想が聞かれました。伝統的な遊びを、老人クラブの皆さんの指導のもと、楽しく体験できました。



元気にだんごさし 青少年育成町民会議事業

小正月の伝統行事であるだんごさしが1月15日、伊達崎小学校で行われました。青少年育成町民会議伊達崎部会の後援を受けて、学校の土曜学習として実施。児童や保護者ら、合わせて50人が参加しました。

だんごさしは、紅白のだんごやささまざまな飾り物をミズキの木に飾り、五穀豊穡と無病息災を願う伝統行事。参加者は、だんごを丸めたり、木に飾り付けたりと、楽しみながら貴重な体験をし、有意義な時間を過ごしました。



健やかライフを 成人・高齢者講座

健康講座「食べて！動いて！健やかライフ」が12月17日、イコーゼで行われました。はじめに、菅野則子保健師が、日常の食事や運動が認知症と深く関係していることや、軽度認知障害から正常な状態への回復も可能であることを説明。次に、佐久間ミチル管理栄養士が、タンパク質を摂ることの大切さや、塩分と砂糖を摂りすぎでしまう現代の食環境について紹介しました。最後に、持地純子介護支援専門員が、筋力アップの運動方法を実演しました。



ぬか温湿布で冬支度 美術館ワークショップ

美術館deワークショップ「手づくりぬか温湿布で冬支度」が12月11日と12日、種徳美術館で行われました。

近年、体を温めて免疫力を上げたり、抵抗力を養ったりする目的で「温活」が注目されています。今回は冬に向け、米ぬかや玄米を布袋に詰めて、温めて使う「ぬか温湿布」を作りました。参加者からは「思ったより簡単にできて楽しかった」「家でも作りたい」などと好評でした。今後も楽しい企画を実施していきます。